

## さまざまな取組み～活動計画の参考に

メニュー以外にも、地域で工夫したさまざまな活動が行われています  
ここではその一部を紹介していますのでぜひ参考にしてください

### 1 さまざまな取組み

毎年各地で防災に関するさまざまな取組みが実施されています。ここではいくつかの事例を紹介しますので、地域の防災活動を計画する際に参考にしてみたいかがでしょうか？

これ以外にも、先駆的な活動や地域特性に合致した活動については「提案型活動」として実施されています。実施内容などについては、消防局ホームページで公開していますので、こちらも参考にしてください。

※消防局HP：<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/48/>

### 2 内容

#### ○ 情報発信について

さまざま防災福祉コミュニティが独自の広報紙や自治会などの地域広報紙で活動状況の紹介を行うなどして情報の共有化を図っています。

また、ホームページを立ち上げて情報の共有化を図る団体も複数あります。

#### ○ 防災ジュニアチーム

平成8年度に結成された東川崎ジュニアチームを初めとして、平成20年度中にも新たに1チームが結成され、市内で15チームが結成されています。長田区では防災福祉コミュニティ（4小学校区）が連携した連合ジュニアチームも結成されました。活動の内容はチームにより異なりますが、救急講習や防災訓練等の活動が毎月、定期的に実施されているところもあります。

#### ○ ファイア・アドベンチャー（小学生総合防災体験学習）

毎年秋に、王子公園において、防災福祉コミュニティや消防団が参加し、灘区内の小学校4年生（約900名）が参加し、震災の教訓を若い世代に伝えるとともに、消防の仕事への理解を通じて安全で安心なまちづくりに関心を持ってもらうことを目的に実施しています。内容としては、小型動力ポンプからの放水体験、ロープ結索訓練、ロープ渡り、震災時の講話などを実施しています。

西区でも同じような内容の活動を実施しています。西区内のすべての小学校の4年生約2000人が参加し、「安全・安心体験学習」と称して、消防署だけでなく警察署も協力して実施しています。消防団長を委員長とした実行委員会が主催で、防災福祉コミュニティや消防団が一体となって学校を巻き込んだ活動を実施しています。

#### ○ セーフティキッズ（防災学習）

毎年、須磨区内の各小学校において、6年生を対象にして、防災について関心を持たせ、防災知識の習得、道徳心を養い、防災マナーを身につけることを目標に、

消防署・防災福祉コミュニティ・消防団が指導して防災学習を実施しています。主催は各小学校区の防災福祉コミュニティ又は小学校となっています。一部の小学校では全学年を対象とし、学年ごとの発達過程に応じた内容で防災学習を実施しています。

また、修了者には「セーフティキッズ」として消防署から認定証が贈られます。

### ○ 防災ジュニアキャンプ（体験型宿泊研修）

平成12年度から、西区桜が丘小学校において、桜が丘防災福祉コミュニティが主催して「一泊避難体験会」を実施しています。平成17年度に、神戸市民総合防災センターにおいて小中学生を対象に、「サバイバルキャンプ」を実施しました。平成18年度には、大学生・高校生・NPOの参画により、避難所の模擬体験等を通じた若者層の育成を目指す体験型宿泊研修のモデルとして「防災ジュニアキャンプ」を実施しました。市内数箇所の防災福祉コミュニティで実施されています。

### ○ ジュニア・ファイアーファイター

夏休みを利用して、垂水区内に在学する中学生（4校11名）を対象に、災害に対応できる必要な知識・技術を習得することを目標に垂水消防署が防災学習を実施しています。

### ○ 神戸カエルキャラバン

平成18年度から、「神戸からの発信ネットワーク」（「震災10年神戸からの発信」事業推進委員会（平成16年12月～平成17年12月）の委員により同事業を継承）が、水消火器を使った的当てゲーム・バケツリレー・毛布担架リレーなどを通じて、子供たちが防災の取組みを楽しく学べる「神戸カエルキャラバン」を実施しています。

### ○ ふれあい合同運動会

地域の人と触れあいながら児童の防災意識を高めるため、防災福祉コミュニティとともに、学校行事の一環として実施しています。大声通報ゲーム、伝言ゲーム、○×防災知識ゲーム、毛布で人形運び、消火器的当てゲーム、炊き出し訓練、担架による負傷者搬送やバケツリレーなどを競技に取り入れた「防災運動会」を実施しています。（本山第二小、渦が森小、高丸小、有馬小など）

### ○ 安全マップ作成

防災福祉コミュニティでは、地域の課題や防災資源情報を共有し、地域の人が参加することを目的に、「コミュニティ安全マップ」の作成に取り組んでいます。（神戸市危機管理室）

平成19年度中には190地区のうち160地区で完成しました。

今後は、市内全小学校に電子コミュニティ安全マップのソフトを含む防災学習ソフトが配付され、希望する地区については、デジタルマップによる地図の作成を行います。（消防署にもソフトが配布されています）